

2026.08.25

人手不足に悩む離島の水道行政を DX で支援 沖縄県与那国町、職員の検針負担軽減と業務効率化を目指し、 水道スマートメーターの実証実験開始のお知らせ

当社連結子会社の株式会社ウォーターリンクス(本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：原 裕二)、は、与那国町（与那国町長：上地 常夫）と次世代の水道検針に向けた水道スマートメーターの実証実験（以下、本実験）を開始することをお知らせします。

本取り組みでは、同連結子会社の株式会社ウォーターデバイス（本社：兵庫県豊岡市、代表取締役社長：岩本晃幸）が製造する水道スマートメーターを設置し、効果を測定します。

■背景と課題：人手不足の中、職員が他業務と兼務で広範囲を検針

日本最西端に位置する与那国町では、人口減少や人手不足が進む中、水道事業の運用において専門の検針員を十分に確保することが困難な状況にあります。そのため、役場職員が本業である行政業務や窓口対応を抱えながら、兼務で広範囲に点在する各家庭を巡回・検針を行っており、職員の大きな負担となっていました。

集落間が離れていることによる移動時間の長さや、厳しい自然環境下の作業は業務を圧迫しており、持続可能な水道運営に向けた対策が急務となっていました。

こうした離島エリアにおける人手不足と現場の負担削減に向け、与那国町と株式会社ウォーターリンクスは、水道スマートメーターを活用した業務のデジタル化（DX）に共同で取り組んでいます。

■取り組みの概要

1.連携体制

本取り組みでは、与那国町と株式会社ウォーターリンクス、および株式会社ウォーターデバイスの連携体制を構築しています。株式会社ウォーターリンクスでは、水道スマートメーターの提供、クラウドシステム構築を担当しています。

2.水道スマートメーター（AMR 方式）導入

各戸に無線通信機能付きの水道スマートメーターを導入しました。

これにより、LPWA による遠隔検針を可能としています。

※AMR（Automated Meter Reading）方式：水道メーターに搭載された無線子機により、正確でスムーズな一括無線検針を可能にします。検針方式としてウォーク・バイ方式とドライブ・バイ方式があります。

※LPWA（Low Power Wide Area）：低消費電力・広域通信を特徴とする無線通信技術。スマートメーター等の IoT 機器に適しています。

■期待される効果

本取り組みにより、現地へ足を運んで 1 軒ずつ手作業で確認していた従来の検針作業が大幅に自動化・省力化されます。

○移動時間・検針時間の削減： 兼務する職員の現地拘束時間を削減し、他の重要な行政サービスや住民対応へリソースを割くことが可能になります。

○人手不足の解消と持続性の向上： 少人数の体制でも確実に安定的に検針業務を継続できる体制を構築します。

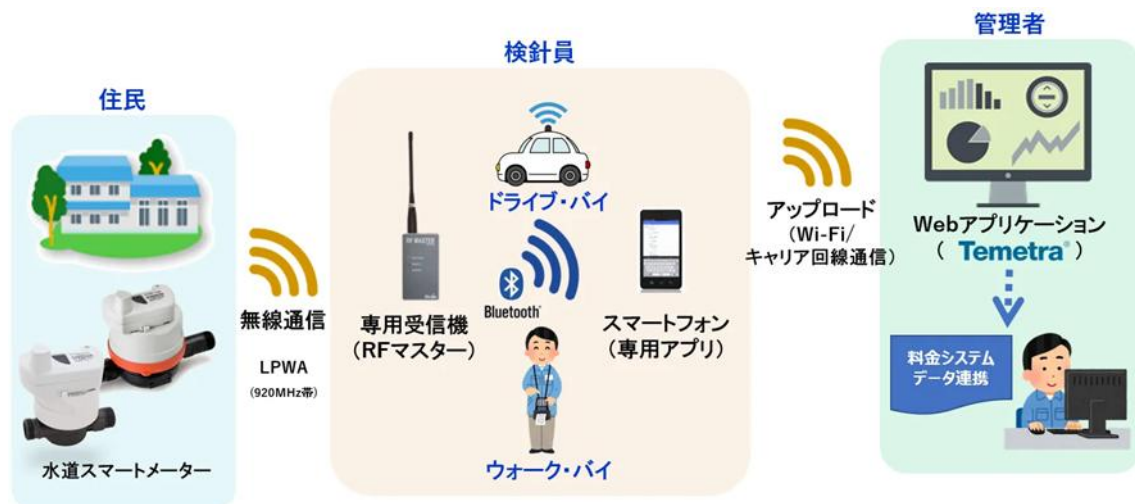
○漏水の早期発見： 検針データを活用することで、漏水等の異常水量を素早く察知し、貴重な水資源のロスを防ぎます。

■本取り組み対象・期間

・対象戸数：113 戸

・実証期間：2026 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日

■検針システム イメージ図



【会社概要】

■販売元

名称：株式会社ウォーターリンクス

代表者：代表取締役社長 原 裕二

所在地：〒670-0944 兵庫県姫路市阿保甲 878 番地

会社設立日：2019 年 9 月 10 日

資本金：50,000,000 円

URL：<https://waterlinks-japan.com/>

■製造元

名称：株式会社ウォーターデバイス

代表者 : 代表取締役社長 岩本 晃幸
所在地 : 〒668-0055 兵庫県豊岡市昭和町 4 番 24 号
会社設立日 : 2022 年 9 月 9 日
資本金 : 20,000,000 円
URL : <https://www.waterdevices.co.jp/>
・本リリースに関するお問い合わせ
株式会社ウォーターリンクス
〒670-0944 兵庫県姫路市阿保甲 878 番地
HP : <https://waterlinks-japan.com/>
お問い合わせ先
広報担当チーム : info@waterlinks.co.jp